

人権学習展開例（第2学年）

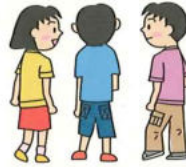
主題名 相手の気持ちを考えて

教材名 ドッジボール

人権学習の視点 個別的な視点「子どもの人権問題」



主題・教材について 子どもたちには、遊びの中で勝負にとらわれ、人を傷付けるような言動が見られることがある。ここでは、日常的な場面を設定し、相手の気持ちを考えて行動しようとする心情を養いたい。



ねらい 相手の気持ちを考えて、思いやりのある行動をとろうとする態度を身に付けさせる。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○みんなで、リレーやドッジボールをした時、いやな思いをした体験がないかどうかを思い出させる。	一斉	○自分の経験を思い出して発表する。	○遊びや体育の時間など、具体的なことで考えさせる。	
展開	「おまえのせいだぞ。」と言われたとき、「ぼく」はどんな気持ちだったろう				
	○「ぼく」の気持ちを考えさせる。	個別	○「ぼく」の気持ちを考えて、ワークシートに書き発表する。	○心の中で、どんなことを言ったと思うかを考えさせる。	資料 「ドッジボール」 ワークシート①
展開	もし、あなたがここにいたら、なんと言うだろう				
	○「しんご君」と、「ぼく」に対して、それぞれどんなことを言えばよいのかを考えさせる。	個別 一斉	○「しんご君」に言いたいこと、「ぼく」に言いたいことを考えて、ワークシートに書き、発表する。	○それぞれの気持ちを考えて書かせるようにする。	ワークシート②
まとめ	みんなで、楽しく遊ぶためにはどんなことが大切だろう				
	○相手の気持ちを考えて行動することが大切であることに気付かせる。	一斉	○みんなで遊ぶ時に大切であることを考え、発表する。	○「()組のなかよしルール」などクラスの遊びの約束を考えさせてもよい。	

評価 相手の気持ちを考えて、思いやりのある行動をとろうとする態度が身に付いたか。

